

# デジタル機器等寄贈

## 渡辺酒造店と十六銀行が古川中へ



古川町若之町の渡辺酒造店の渡邊久憲社長

『つながる』の制度を活用したもの。

企業が発行した私募債を同行が引き受け、そこから得た手数料の一部を使い、発行企業が指定する学校などに備品などを寄贈する「じゅうろくCSR私募債

今年一月に始まった制度で、上期だけで九十件あつたが、古川支店管内では初めて。今回は渡邊社長が、母校である古川中学校

と(株)十六銀行の高橋義信常務が十四日、古川町沼町の古川中学校を訪れ、大型テレビ一台やデジタルカメラ八台、一眼レフ用カメラレンズなどを寄贈した。

への寄贈を決め、同校が希望するデジタル機器等を贈った。渡邊社長は「卒業生

の一人として後輩を応援したい。微力ですが、母校の教育の充実に役立てば、高橋常務は「授

業の振り返りや職場教育、総合学習、部活動などにも活用いただければ」とあいさつした。

生徒を代表して目録を受け取った生徒会長齋藤優太君(16、三年)は「古中の学力向上に

ぜひ生かしていきたいです。大事に使わせていただきます」などと謝辞を述べた。

